



NISSHA

2019年12月期 第1四半期 決算説明会

2019年5月9日

NISSHA株式会社

代表取締役社長 兼 最高経営責任者

鈴木 順也

本日のポイント

2019年12月期 第1四半期の実績

- デバイスの需要が低調、営業損失は想定範囲内（平均レート：¥109/\$）
 - 売上高 349億円、EBITDA ▲1億円、営業損失 25億円、経常損失 27億円、親会社株主に帰属する四半期純損失 32億円
 - デバイス：スマートフォンやゲーム向けの製品需要が低調、工場の稼働が低下
 - 産業資材：自動車向け、蒸着紙の製品需要が堅調も、海外成形工場の品質コストに課題
 - メディカルテクノロジー：受託製造分野を中心に堅調、成長基調へ

2019年12月期 第2四半期以降の見通し

- 業績予想に変更なし（M&Aを含まない前提、為替レート：¥105/\$）
 - 売上高 1,950億円、EBITDA 188億円、営業利益 85億円、経常利益 78億円、親会社株主に帰属する当期純利益 60億円
 - 上期：デバイスのQ2は前四半期比で増収に転じる見通し
 - 下期：デバイスの製品需要は当初想定通りQ3に急回復・ピーク

2019/12期 Q1実績

デバイスの需要は低調、収益を圧迫
 メディカルテクノロジーは大きく成長

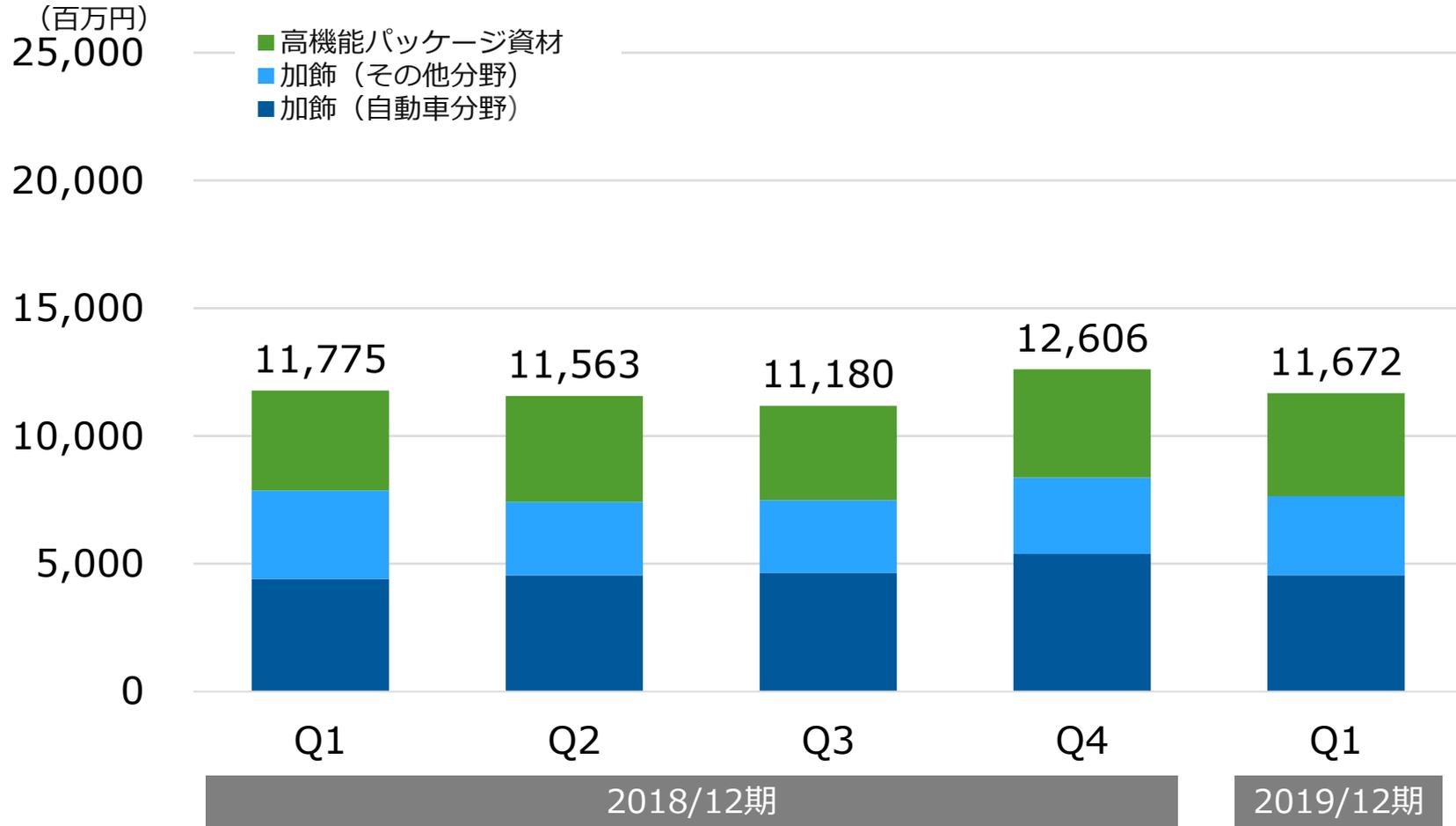
(百万円)

	2018/12期 Q1 実績	2019/12期 Q1 実績	前年同期比
売上高	36,314	34,964	▲3.7%
産業資材	11,775	11,672	▲0.9%
デバイス	15,687	✓ 15,072	▲3.9%
メディカルテクノロジー	4,880	6,145	✓ +25.9%
情報コミュニケーション	3,873	1,977	▲48.9%*
その他	97	95	▲2.1%
EBITDA	515	▲ 170	-
EBITDA率	1.4%	-0.4%	-1.8pt
営業利益	▲ 1,829	▲ 2,513	-
営業利益率	-5.0%	-7.2%	-2.2pt
経常利益	▲ 3,663	▲ 2,750	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	▲ 3,612	▲ 3,263	-
為替レート	¥109/\$	¥109/\$	

産業資材

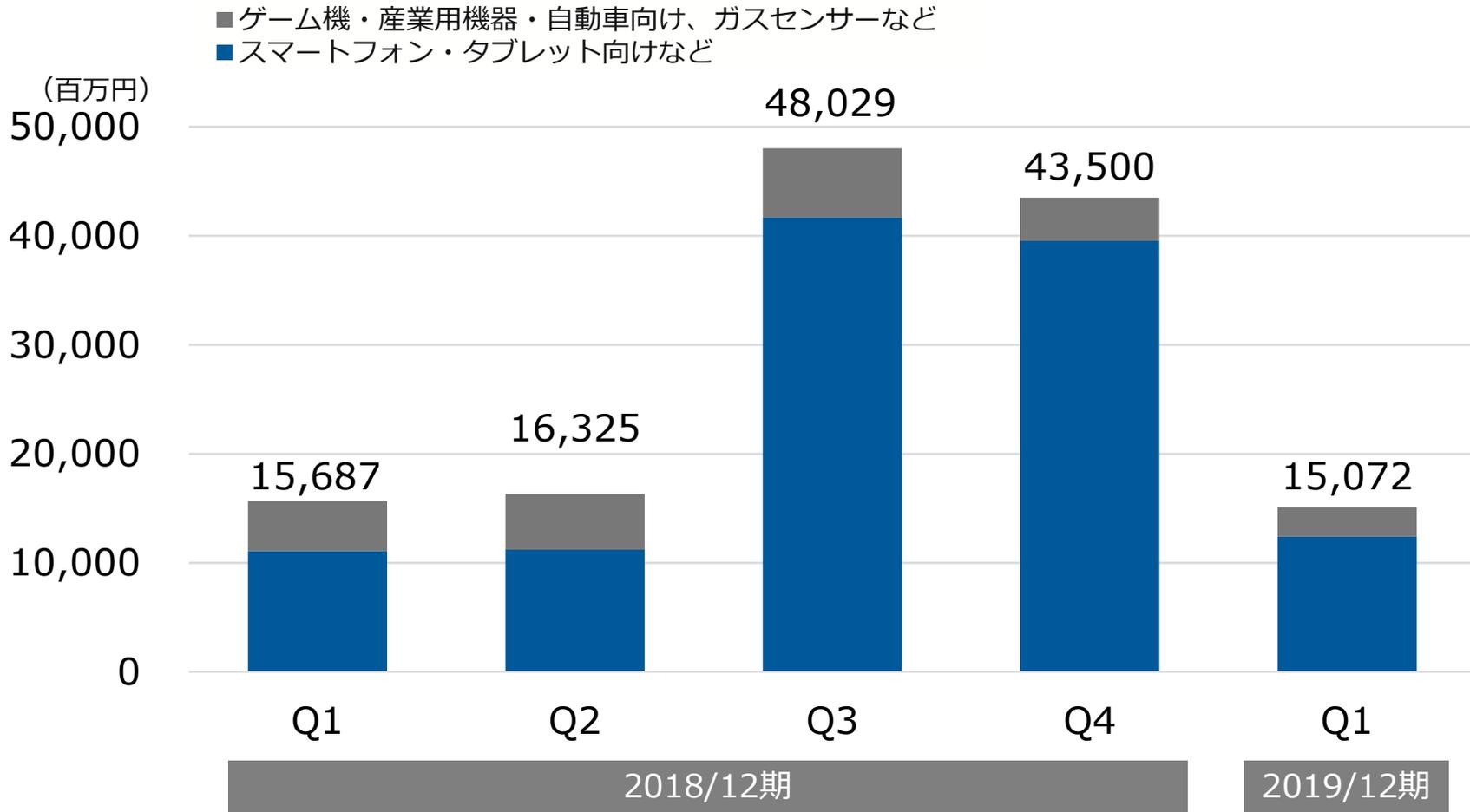
自動車向け、蒸着紙の需要は堅調

用途別売上高（四半期）



デバイス スマートフォン、ゲーム向けの出荷が低調

用途別売上高（四半期）



メディカルテクノロジー 前年同期比で26%の成長、PMIは完了

用途別売上高（四半期）

(百万円)
10,000

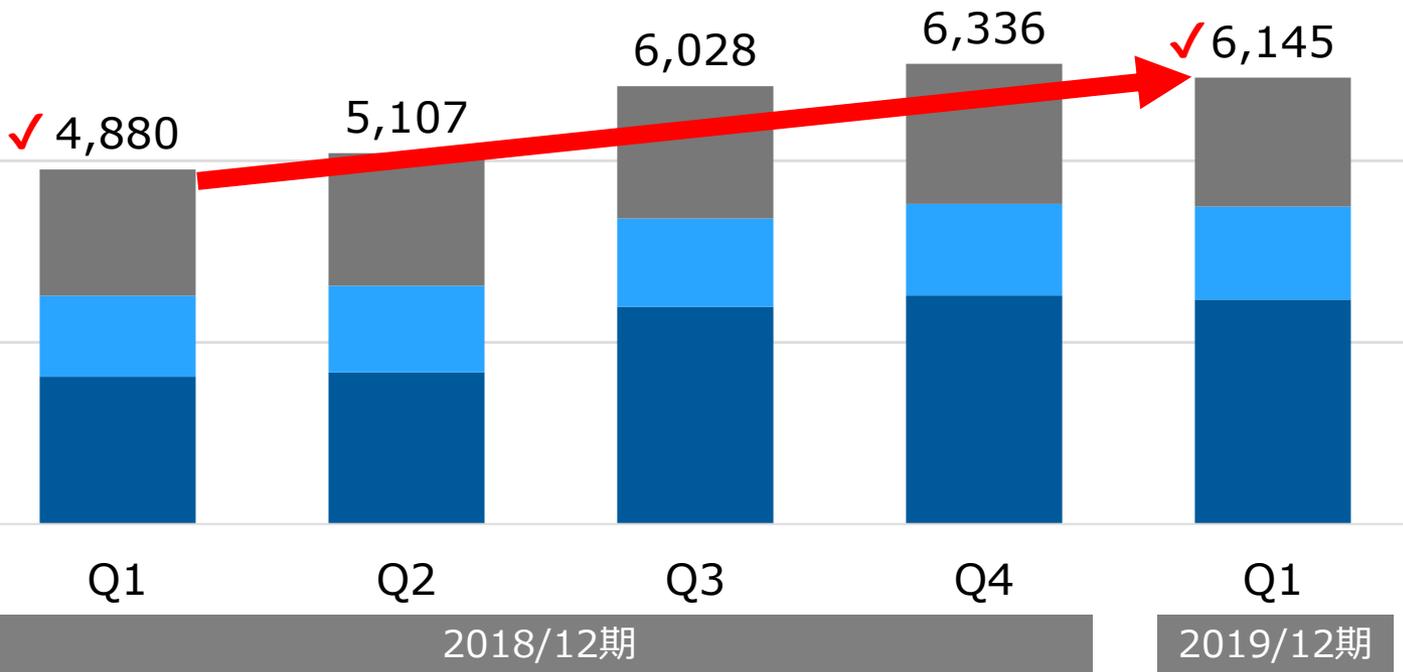
- ビジネスメディア
- 医療機器（自社ブランド）
- 医療機器（受託生産）

7,500

5,000

2,500

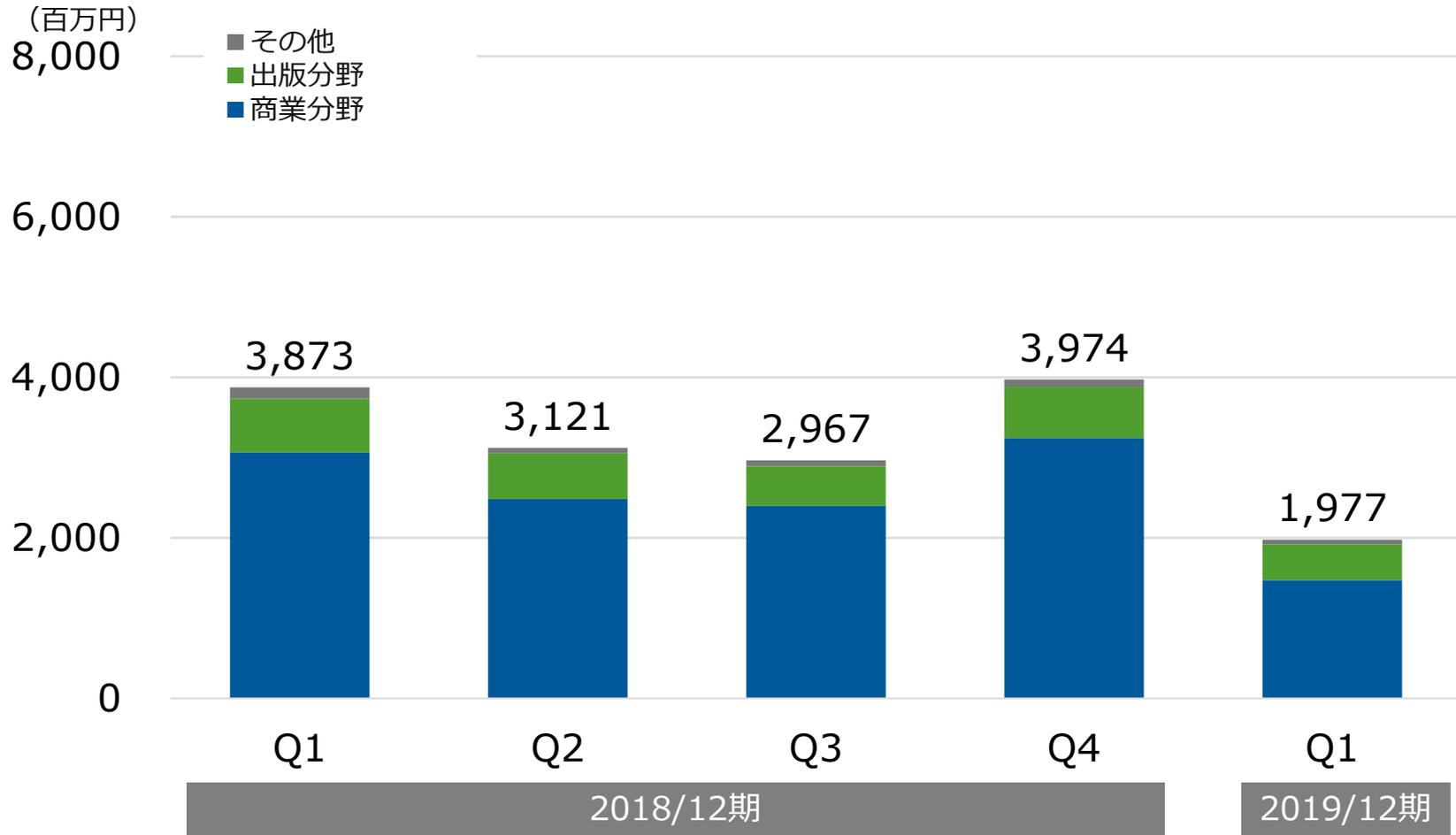
0



情報コミュニケーション

売上高の減少は事業再編による（計画通り）

用途別売上高（四半期）

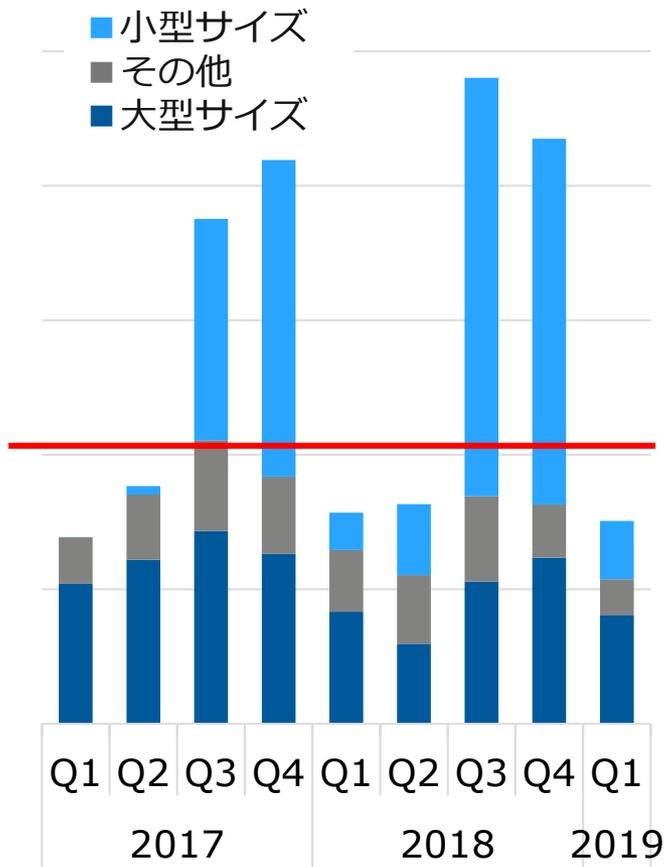


2019/12期 業績計画に変更なし

(百万円)

	2018/12期 通期 (1-12月) 実績	2019/12期 通期 (1月-12月) 計画	2019/12期		前期比 (2018/12期比)
			H1 (1月-6月) 計画	H2 (7月-12月) 計画	
売上高	207,404	195,000	78,000	117,000	▲6.0%
産業資材	47,124	51,800	24,800	27,000	+9.9%
デバイス	123,541	110,600	37,200	73,400	▲10.5%
メディカルテクノロジー	22,351	25,000	12,500	12,500	+11.8%
情報コミュニケーション	13,935	7,100	3,300	3,800	▲49.1%
その他	452	500	200	300	+10.6%
EBITDA	17,343	18,800	1,080	17,720	+8.4%
EBITDA率	8.4%	9.6%	1.4%	15.1%	+1.2pt
産業資材	3,675	4,900	-	-	+33.3%
デバイス	14,444	13,200	-	-	▲8.6%
メディカルテクノロジー	1,829	2,400	-	-	+31.2%
情報コミュニケーション	▲402	400	-	-	黒字化
その他	▲2,203	▲2,100	-	-	-
営業利益	8,071	8,500	▲4,000	12,500	+5.3%
営業利益率	3.9%	4.4%	-5.1%	10.7%	+0.5pt
経常利益	7,370	7,800	▲4,300	12,100	+5.8%
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	4,308	6,000	▲4,000	10,000	+39.2%
為替レート	¥109/\$	¥105/\$	¥105/\$	¥105/\$	-

デバイス スマートフォンが業績変動を増幅している



- 季節の需要変動が増大、設備稼働の効率性が低下
- 売上高は増加も限界利益率は低下
- 未稼働固定費（人件費）に課題
 - スマホ向けの減価償却費は既に少額（約15億円）



- 将来スマホが減少しても、固定費の最適化により利益率は安定
- 自動車用途の拡大に手応え

ご参考：設備投資・減価償却費・M&A投資・ のれん償却費・研究開発費

(百万円)

	第1四半期 (1-3月) 実績
設備投資	1,602
減価償却費	1,943
M&A投資	-
のれん償却費	400
研究開発費	875

This document contains confidential information and all rights regarding the document belong to Nissha Group. Therefore, any disclosure and/or leakage of the document to any third parties other than recipients of the documents, and copy, transfer and/or citation of the document without the prior authorization of Nissha Group are strictly prohibited. In addition, any use of the document for the purpose other than original purpose for the disclosure of the document is also prohibited.

本資料には機密情報が掲載され、一切の権利はNISSHAグループに帰属しているため、NISSHAグループの事前の許可なく、本資料を受領者以外の第三者に開示、漏洩したり、複写、転送、引用することを固く禁止いたします。また、本資料の開示目的以外での使用は同様に禁止いたします。